

心理学科の会講演会のご案内

**パレスチナで“大きくなる”ということ
- 子どもたちのたくましさ in West Bank -**

講師：高田みほさん（2013年度修士課程修了）

高田みほさんは、本学心理学科在学中より、開発途上国における開発事業や啓発活動に参加し、NPO 法人グッドネーバーズ・ジャパンでは、子ども支援や助成のための教育、緊急支援事業にかかわりました。2010年に卒業後も、それらの活動に従事しました。2012年に本学大学院人間社会研究科心理学専攻臨床心理コースに入学、2014年に課程を修了。その後は、カンボジアのNGO(SCADP)でストリートチルドレンの心身発達を支える活動、国連 UNHCR 協会で、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の活動を支援するファンドレイズ事業の活動を続けてきました。今回、パレスチナのガザ地区にある障がい者施設における彼女の貴重な体験について、直接お話を聞く機会が持てましたので、会員の皆さまにご案内いたします。

日程：2015年11月14日土曜日の午後13時30分～15時

場所：西生田キャンパス 90年館B棟15番教室

講演内容について（高田みほさんより）：

いまだに占領下にあるパレスチナ・ヨルダン川西岸地区。戦争や日々の社会的抑圧という現実やそれによるストレスを受けながらも、子どもたちはしたたかに発達し、幼いころから国を背負って生きています。パレスチナでは数少ない、障がいをもつ子どもたちのリハビリ施設でのボランティア経験を中心に、講演者が出会った人々の生き抜く力についてお話します。また、メディアからは見えにくい、パレスチナの土地と人々の美しさや穏やかさもお伝えします。